

那珂川の恵みをもれなく地域農業発展へ



那珂川沿岸農業水利事業(二期)水那幹線水路戸崎調圧水槽工事



戸崎調圧水槽工事は、関東農政局・那珂川沿岸農業水利事業の一環であり、那珂川沿岸地域で一体的に農業用水の管理を行い、安定的な水供給を行うことにより農業経営の安定化や効率化を図ることで、地域の食料供給力の向上を目指している。同調圧水槽は、水戸市渡里町の揚水機場から東海村までを結ぶ水那幹線の中に位置しており、上流にある成沢吐水槽（平成24年当社施工）から高低差により流入する用水の水圧・水位を調整する役割を担う。

戸崎調圧水槽完成



工事概要

工事名	那珂川沿岸農業水利事業（二期） 水那幹線水路戸崎調圧水槽工事
工事場所	茨城県那珂市戸崎地先
工期	令和2年12月15日～令和4年3月15日
発注者	農林水産省関東農政局 那珂川沿岸農業水利事業所
工事内容	調圧水槽工：PCコンクリート工1式 内径8.7m 高さ13m 全容量730m ³ 地盤改良工（中層混合）1式
管体工	ダクタイル管φ600mm2条(流入、 流出管)φ300mm1条(余水吐管)
付帯設備工	制水弁室（流入流出）流量計室 緊急遮断弁室 ディスクバルブ設置
場内整備工	地下浸透池 場内舗装工 アルミ合金ドーム屋根、歩廊手摺

調圧水槽内部



730tからの水荷重に耐えるように基礎地盤をセメントで堅固に固めている



サブマージドディスクバルブ(自動で減圧や水位を調整する装置)

担当者の声

本工事現場では、敷地内に本体工事とは別に小施設の施工が多数あったこと、残土の仮置きが敷地内に変更されたことで、当初計画よりも非常に狭いヤードでの施工となり、安全で確実な施工をするためには工程の見直しを行う必要がありました。

協議の結果、発注者の理解を得て工期は延伸とすることができましたが、それ以外でも、調圧水槽内部の足場支保工は設備設置のため幾度となく盛替えが必要となったり、コロナの影響で設備機器の納入遅れが生じてしまうなどの苦労がありました。

しかし、本店とワンチームで創意工夫し取り組んだ結果、無事故無災害好成绩で完成することができました。

また、本構造物は水密性を確保するために樽桶のように外周をピアノ線で締め付けるPC工法で施工しています。漏水防止にもコンクリートの打ち継ぎ処理を入念に行い細心の注意を払い施工した結果、水密性の確保された高品質で見栄えの良い構造物を提供することができました。

